

## 令和元年度 第3回全校研究会報告

日時 令和元年度9月18日(水)16:00～17:00

第3回の全校研究会では、研究テーマ「地域社会との連携協働の下で創造する喜びをともにする授業～多様性は可能性」からのキーワード「喜びをともにする授業」「自分なりに社会貢献する」「主体的に幸せに生きるための力」「多様性は可能性」「地域社会と連携協働」「むこフェスとのつながり」「学びの連続性」にどのように取り組んできたかをまとめ、前回の全校研究会以降の取組を含めて、各学部から実践報告をしました。11月7日の研究報告会での発表に向けて、子どもたちの活動をわかりやすくお伝えできるように準備しています。

### 実践報告 「地域社会と連携協働の下で創造する喜びをともにする授業～多様性は可能性」

#### ●小学部 生活単元学習「9組報道局」

1学期に「9組報道局」を開局し、身近な先生へのインタビューや新聞づくりをしました。2学期は国語科の教科の視点を大切にしながら、長岡京消防署の見学しインタビューもしました。子どもたちが、わかって動ける場面が増え、他の場面でも活用できるようになってきています。11月の「むこうがおかフェスタ」では保護者や地域の方々にも校内での展示発表を見ていただきたいと考えています。これからの「新聞づくり」や「招待状づくり」に向けて頑張っています。



#### ●中学部 生活単元学習「お店に行こう～出会いを大切に」

7組では、ICTを活用した取り組みを含め、人や物と関わる力、生活経験、社会経験を広げることをねらいとして様々な学習に取り組んでいます。まず、お店に見立てた教室で、店員役の先生とのやりとりを楽しみながら写真カードを使って買い物をする学習をしました。次に、実際のお店や公共交通機関を利用して買い物をし、店員さんとのやりとりや買い物の手順、おつかいをする喜びなどの経験を重ねました。次は電車に乗って出かけ、カフェを利用する計画を立てています。校外へ出ることで地域社会の中で相互理解が深まることも願っています。



## ●高等部 作業学習「農園芸 お役立ち活動」

作業学習の農園芸の授業で学んだことを生かし、地域の小学校の園芸ボランティアさんの手伝いをしています。「学校でつけた力を活かし、地域社会でも伝わるコミュニケーションの力をつける。」というねらいをもって取り組んでいます。また、友達と一緒に作業をすることで、やり方を忘れても様子を見て作業ができるようになってきました。30分程度、作業し続けられるようになり、信頼して仕事を任せていただけるようになってきました。また、校内で育てた野菜の販売では、その場で直接「ありがとう」や、その場で「おいしかった」が聞けたことから、買ってくれる人のことを考えて行動できるようになってきました。



## ●地域社会連携部「地域社会とつながる授業」

地域社会連携部からは、各学部様々な地域の施設や機関等と連携を行い、2学期に取り組む予定の「地域社会とつながる授業」を報告しました。今学期の特徴は、直接的に地域に展開しなくても共生社会で生きる視点をもった授業や、指導者の連携が増えてきたところです。授業や連携する中で地域社会の方々からいただいたお言葉をご紹介します。

### ・「乙訓消防組合 長岡京消防署」様

小学部の生活単元学習で消防庁舎見学やインタビューをさせていただきました。また、庁舎内や救急車や消防車に乗せていただきご説明いただきました。

見学後、消防署の方からは「はじめて特別支援学校の子もたちと出会った。」「子ども達への伝え方を先生方から学びました」「この見学をきっかけに消防署以外の地域にも、たくさん興味をもって勉強してほしい。」等とお話いただきました。

### ・「乙訓若竹苑」様

高等部では、週1回、乙訓若竹苑へ空き缶を届ける活動をしています。生徒の緊張した顔がで空き缶を若竹苑の利用者の方々に手渡し、お礼を言われることで笑顔に変わります。職員の方からは「若竹苑の利用者も外部との関わりが少ないので、空き缶を持ってきてくれる生徒さんや地域との関わりを大切にしていきたい。」「若竹苑でも、地域社会の中で一緒にやりがいをもって、細く長く続けられるような地域との関わりをいつも考えています。」とお話いただきました。

